

<施工図システム>

- 1.一般図 A3 出力に対応
- 2.材料リスト 出荷明細票に部材長を表示
- 3.柱符号 設計マーク 6 文字に対応
- 4.原寸型紙作成 BHのダイアきり欠き、既製品ダイアに対応
- 5.平面ブレス 柱芯につくブレスシートに対応
- 6.軸ブレス、H 柱のフランジの板厚部分につく軸ブレスの一体型ブレスシートの不具合を修正
- 7.平面ブレス 補強リブに対応
- 8.飛行機梁のリブ 差が小さいときに入れたい設定を追加
- 9.原寸型紙ほか 剛接ジョイントが芯合わせのとき、中央部につく小梁ガセットの不具合を修正
- 10.母屋、 配置範囲内に梁が 1 本しかないときの不具合を修正
- 11.施工図胴縁連動 3 節以上の柱の胴縁ピースの作図不具合を修正
- 12.クレーンガーターの不具合修正 組立図のリブ枚数と切断リストの孔寸法の不具合を修正
- 13.梁単品図 斜め梁につく曲げガセットの向きの不具合の修正
- 14.柱詳細・柱単品図 回転している柱の断面図の表記を変更
- 15.継手詳細図 大梁継手入力で同じマークで同部材のものが重複した場合に自動的に削除するよう変更
- 16.仕口リスト 飛行機梁のスカラップの作図を変更

<胴縁システム>

- 1.ピースの抱き合わせ C 鋼の部品化
- 2.角パイプ CT の継手設定の引き継ぎ
- 3.合番初期化ボタン
- 4.角パイプより大きい CT を使ったときの不具合の修正
- 5.ピース自動配置 DC 材、その他にピース符号が無い場合 C 材をコピー
- 6.斜め軸組ピース 抱き合わせ C 鋼に対応
- 7.ピース修正 クリアの文字数を 6 に
- 8.個別修正でクリアが初期化される不具合を修正
- 9.マグサ指定 ピース編集で使用可能に
- 10.コーナーピースの入力ガイドを追加

<施工図システム>

1. 一般図 A3 出力に対応

図面レイアウト

基本データ

アンカーレイアウト

伏図 レイアウト

軸図 レイアウト

裏軸 設定

自社名設定

終了

柱面・柱芯 寸法線	4	アンカープラン・伏図・軸図	[有=1、無=2、柱面=3、柱芯=4]
梁寸法表記	2	伏図	[有=1、無=2]
合番表記	1	伏図・軸図	[合番=1、設計マーク=2] ※合番の場合は詳細図の合番設定を先に行ってください
梁芯線	1	伏図	[有=1、無=2] <input checked="" type="radio"/> 一点鎖線 <input type="radio"/> 破線
修正した梁の斜線	2	伏図	[有=1、無=2]
スプライス	1	伏図・軸図	[有=1、無=2]
軸図 ガセット合番	2		[表記する=1、表記しない=2]

(軸図の間柱、耐風梁ガセット合番表記
※XY軸方向に出力する間柱は、受け梁が見える軸面のみ合番表記します)

出力用紙サイズ [A1=1、A2=2、A3=3] (アンカープラン・伏図・軸図の用紙サイズ)

寸法線間隔	アンカープラン	6	伏図	6	軸図	7	[最小値=5、最大値=10]
-------	---------	---	----	---	----	---	----------------

玉止め比率 (%)

柱の部材厚み表示 軸図 [有=1、無=2]

間柱リブ板表示 軸図 [有=1、無=2]

メッキ指示 伏図・軸図 [有=1、無=2]

グループ化する

レイヤ分けする

レイヤ名を漢字にする
 レイヤ名を数字にする

変更要素の色を赤へ変更する(伏図)

変更前の図面の日付を設定してください。

2019年 | 12月 | 19日 | 10時 | 16分

図面作成年月日を設定する(工事ごと)

アンカープラン	2018/12/28
伏図	2018/12/14
軸図	2018/12/14

※基本データの設定は全工事共通です

2. 材料リスト 出荷明細票に部材長を表示

リスト出力設定	
出力 枠数	横数: <input type="text" value="1"/> 縦数: <input type="text" value="1"/>
小数点以下の表示	<input type="text" value="0"/> (1=表示する 0=表示しない) (※柱リスト、梁リスト、発注依頼書)
(軽量溝型)追寸方向	<input type="text" value="1"/> (1=←, 2=→)
担当者名	LTD ※会社名と電話番号は「図面レイアウト」で入力
出荷明細書	第 <input type="text" value="1"/> 回 <input checked="" type="checkbox"/> 鋼材長を出力する
- 出荷明細書 重量枠表示	
<input type="radio"/> 表示する(柱・梁単品図から計算) <input checked="" type="radio"/> 表示しない (※重量計算に時間がかかります!!)	
- 出荷明細書 プレス出力	
<input type="radio"/> 全部材を出力 <input type="radio"/> 山形・溝形を出力 <input checked="" type="radio"/> 無	
仮ボルト出力	
<input checked="" type="checkbox"/> 建て方用仮ボルトを出力する (最低本数2本)	剛接本ボルトの <input type="text" value="33"/> % ピン接本ボルトの <input type="text" value="33"/> %
製品検査成績表(柱)	
<input checked="" type="checkbox"/> 限界許容差を出力する	仕口寸法 <input checked="" type="radio"/> 上側 <input type="radio"/> 下側
<input type="checkbox"/> 階高を4方向表示する	
<input type="checkbox"/> 製品検査成績表 小数点以下1位を表示する	
<input checked="" type="checkbox"/> 製品検査成績表 適・否を表示する	

集積指示書兼出荷明細書

第 回日 (1 / 2)

工 事 名	出荷予定日	承認	作成
(仮称) 新築工事		着	

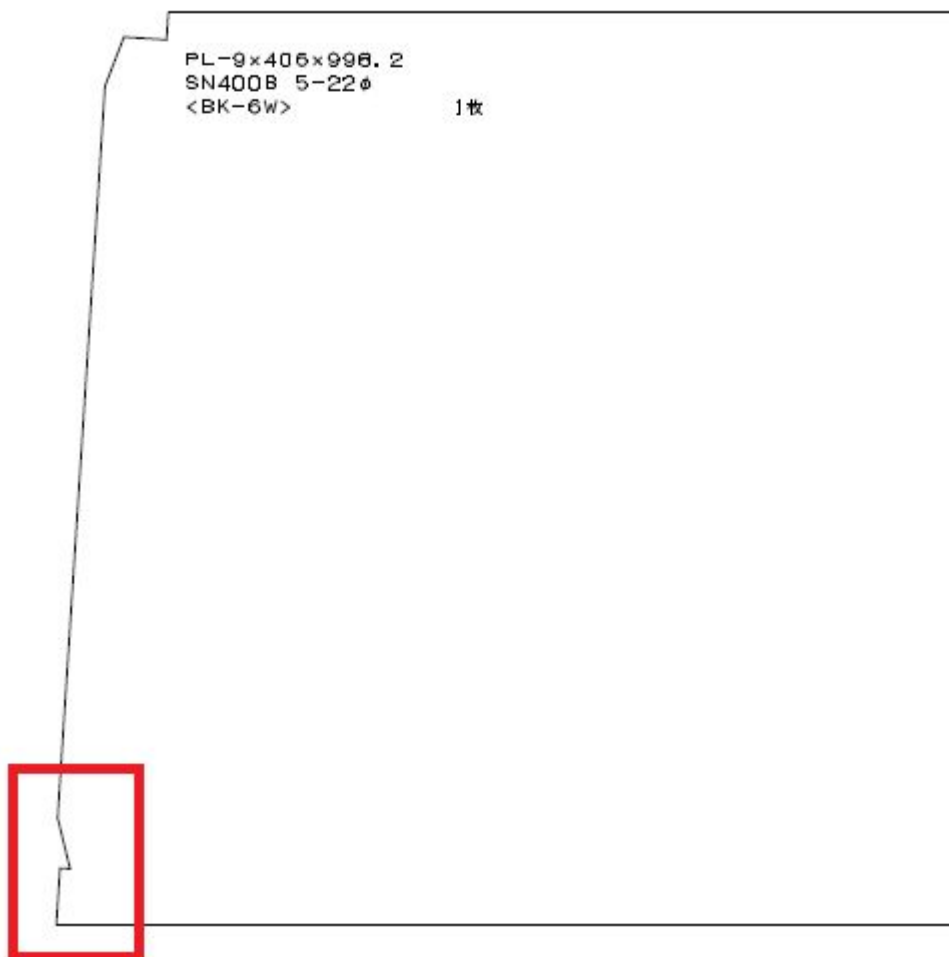
形状	合番マーク	台数	長さ(台)■	フック	形状	合番マーク	台数	長さ(台)■	フック
本柱					H-200	P2-1	1	4375	
□P250	Y2X6	1	5120			P2-2	1	4375	
	Y3X6	1	5120			P2-3	1	4375	
□P200	Y1X2	1	4700		H-150	P3-1	1	3104	
	Y1X3	1	4841			P3-2	1	4701	
	Y1X6	1	5120						
	Y2X2	1	4700		H-148	P6-1	1	1577	
	Y2X3	1	4841			P6-3	1	1685	
	Y2X4	1	4937						
	Y3X2	1	4700		H-100	P1-1	1	4438	
	Y3X3	1	4841			P1-2	1	4438	
	Y3X4	1	4937			P1-3	1	3009	
						P1-4	1	3009	
H-100	Y5X4	1	2770			P5-1	1	1500	
	Y5X5	1	2865			P5-2	1	1543	
						P5-3	1	1639	
間柱						P5-4	1	1837	
[-100	P4-1	1	1497			P5-5	1	1922	
	P4-2	1	1596			P5-6	1	1942	
	P4-3	1	1583			P5-7	1	1842	
						P5-8	1	1942	
□-100	P7-1	1	5096			P5-9	1	1942	
	P7-2	1	2646			P5-10	1	1942	
	P7-3	1	1152			P5-11	1	1842	
	P7-4	1	1234			P5-12	1	1575	
	P7-5	1	1820			P5-14	1	1575	
	P7-6	1	2986						
	P7-7	1	2986		大梁	(RISL)			
	P7-8	1	2371		H-200		5	1687	

3.柱符号 設計マーク6文字に対応

柱の設計マークが6文字かつ柱ジョイントがあるときの不具合を修正しました。

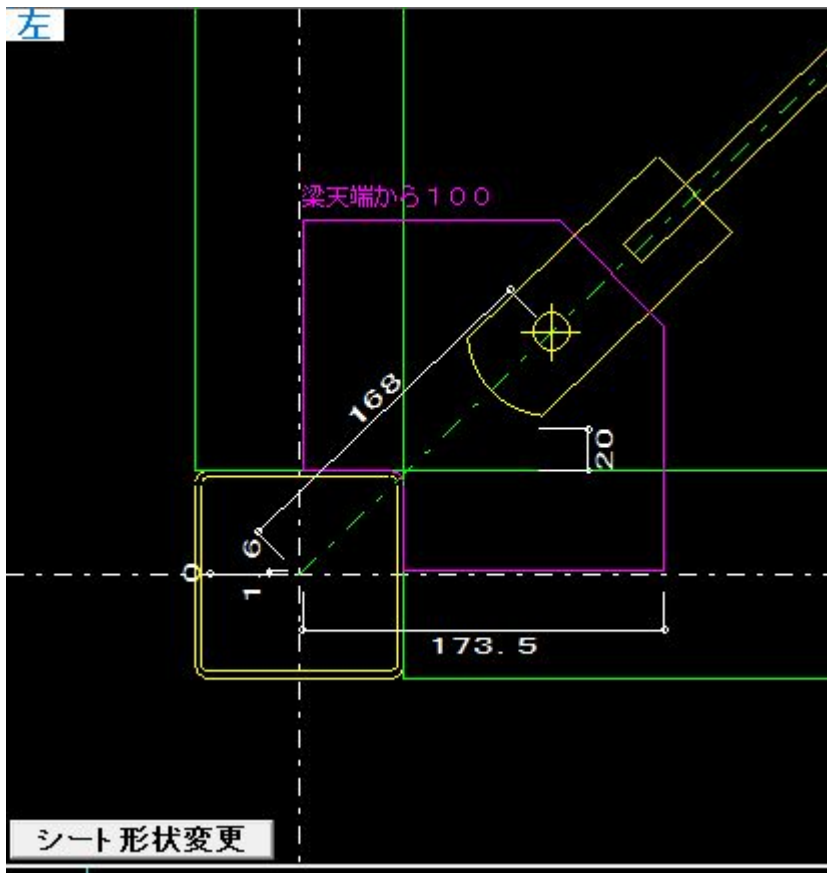
4.原寸型紙作成 BHのダイアきり欠き形状、既製品ダイアに対応

BH の原寸型紙が既製品ダイア（ファブラックス）の形状に対応しました。

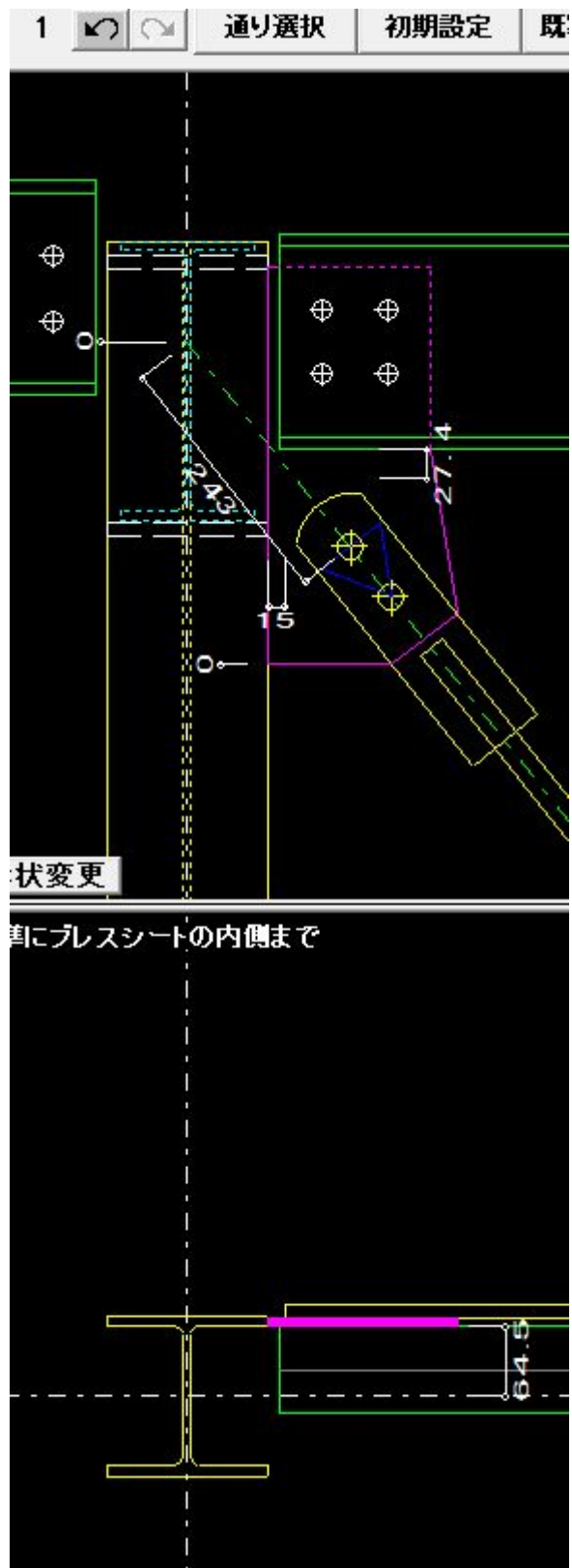


5.平面プレス 柱芯につくプレスシートに対応

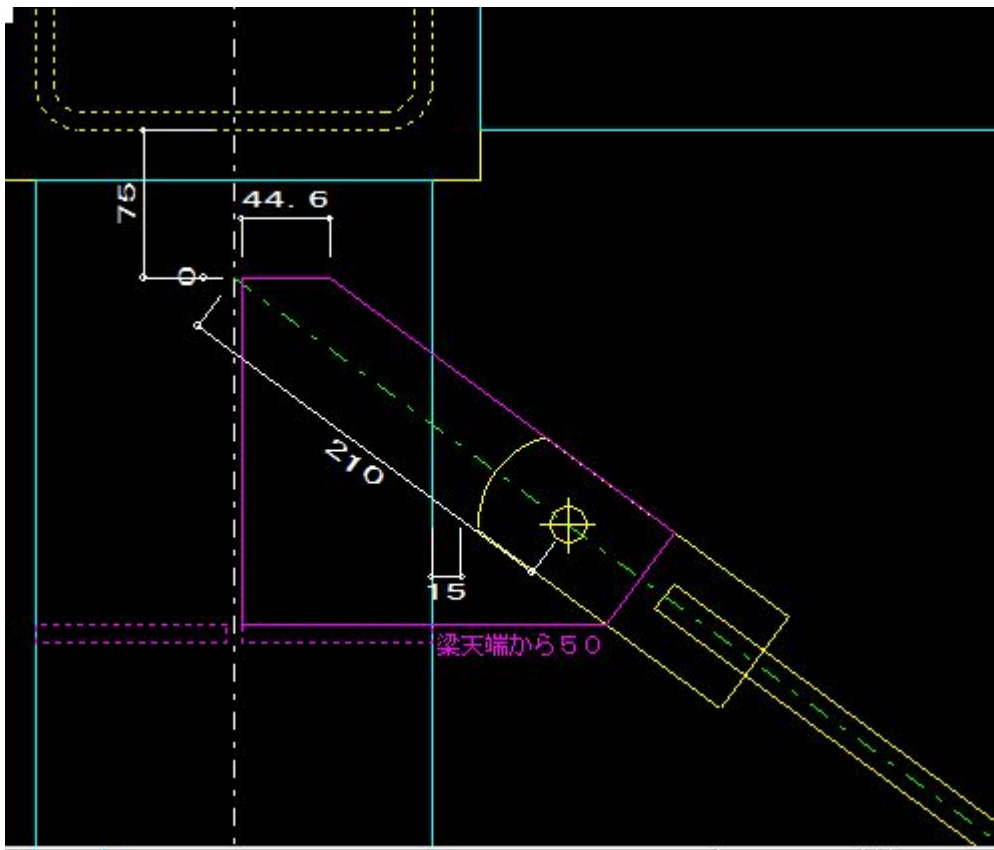
柱部分をくりぬくようにしました。また、プレスシートが直角になるようにしました。(シート形状変更で従来の形に戻せます)



6.軸ブレス H柱のフランジの刃につく軸ブレスの一体型ブレスシートに対応

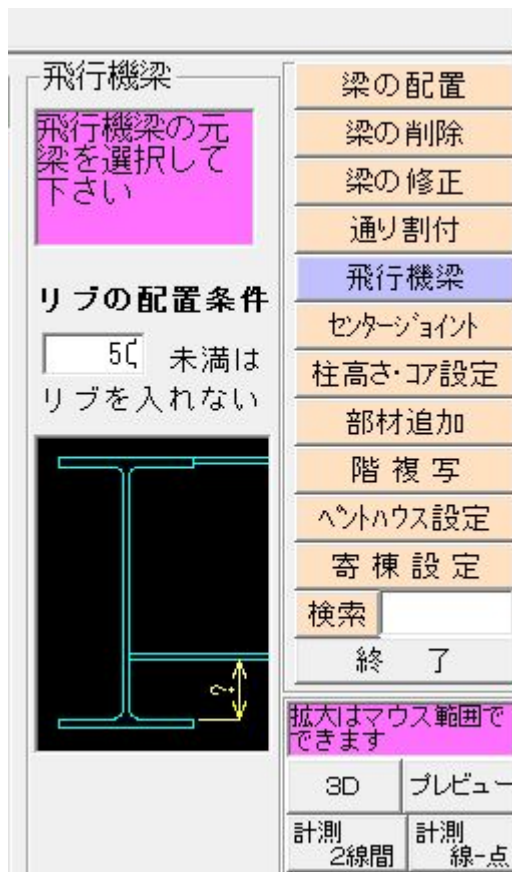


7.平面プレス 補強リブに対応



部材	HV16 RB-16	
	左	右
継手符号	VJ16	VJ16
プレスシート	原寸型 既製品	原寸型 既製品
既製品の 結合タイプ	単独型 結合1 結合2 結合3	単独型 結合1 結合2 結合3
既製品名		M16-80-9
取付基準	梁天端	下F内面
高さ	50	
溶接面	-	-
ポイント	柱面	梁芯
ニゲ寸法	75	100
第1孔ニゲ	210 *	* *
クリアランス	15 *	* *
切取長	44.6 *	* *
角度	直角 斜め	直角 斜め
プレートクリア	0 *	* *
	<input type="checkbox"/> どん付け	<input type="checkbox"/> どん付け
溶接幅	20 *	20 *
スカラップ	無	
補強リブ	有 9	無
ターンバックル	左 右 無	納め方向
刃の向き	背が上 背が下	↓ ↑
決定<Enter> 中止<ESC>		

8.飛行機梁のリブ 差が小さいときに入れない設定を追加



9.原寸型紙ほか 剛接ジョイントが芯合わせのとき、中央部につく小梁ガセットの不具合を修正。

原寸型紙に表示される親梁の高さが実際と異なっていた（端部の高さになっていた）ものを、修正いたしました。

10.母屋、配置範囲内に梁が1本しかないときの不具合を修正

11.施工図胴縁連動 3節以上の柱の胴縁ピースの作図不具合を修正

12. クレーンガーターの不具合修正

組立図のリブ枚数と切断リストの孔寸法の不具合を修正しました。

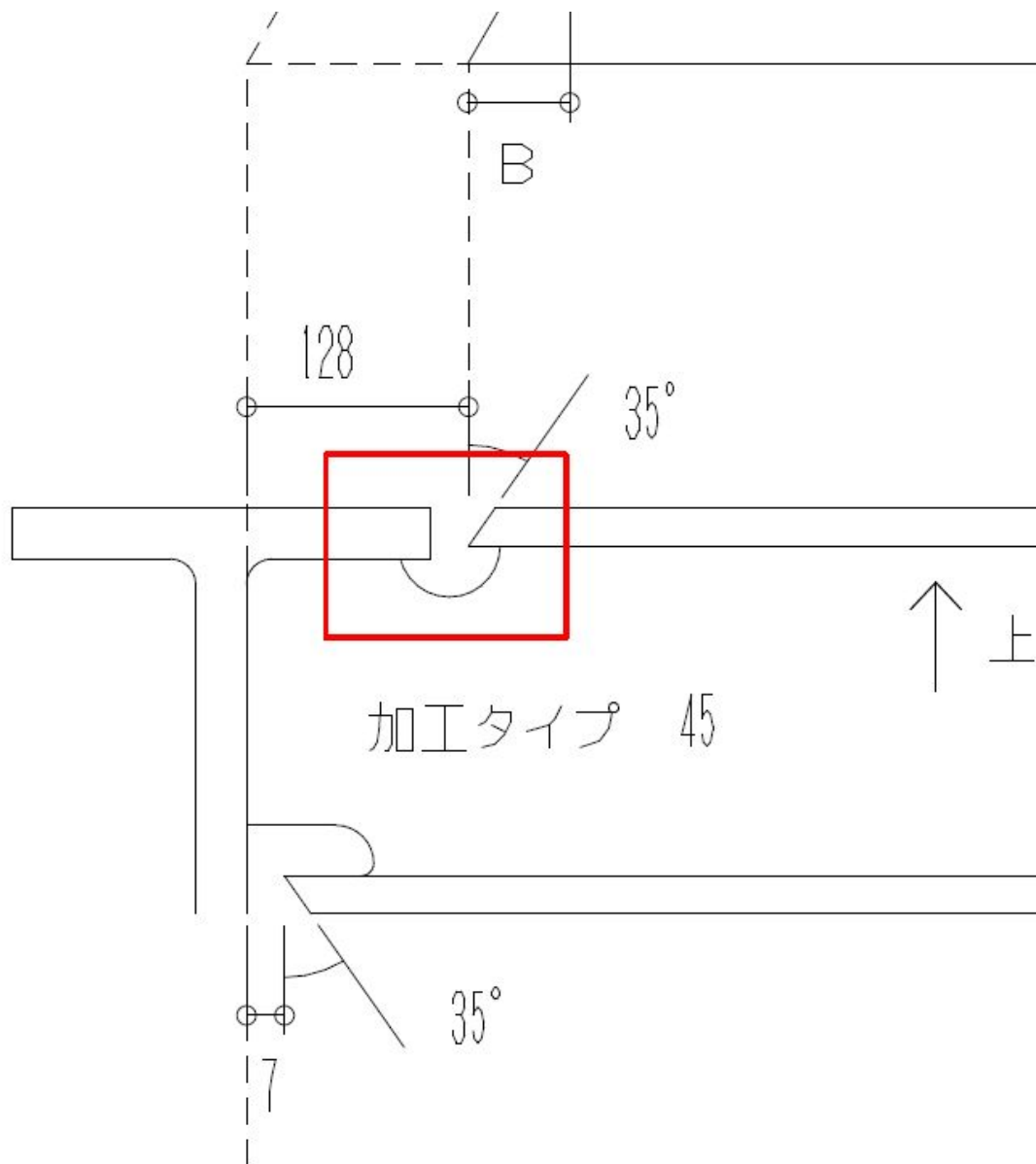
13.梁単品図 斜め梁につく曲げガセットの向きの不具合の修正

14.柱詳細・柱単品図 回転している柱の断面図の表記を変更

回転している柱は斜めを基準に断面図を作成します。

15.継手詳細図 大梁継手入力で同じマークで同部材のものが重複した場合に自動的に削除するよう変更

16.仕口リスト 飛行機梁のスカラップの作図を変更



17.

<胴縁システム>

1.ピースの抱き合わせ C 鋼の部品化

ピースに抱き合わせる C 鋼をプレートマスターに登録して選べるようになりました。

1.ピースマスター内のプレートマスターに種別：抱合で C 鋼を登録します。

プレートマスター

番号	符号	種別	部材サイズ	板厚	縦寸法	横寸法	孔数	列数	孔径	縦端明	縦ピッチ	横端明	横ピッチ
1	小板	ホルト		3.2	98	50	1	1	13.5	49		25	
2	F1	ホルト		3.2	85	50	1	1	15.0	42.5		25	
3	F2	ホルト		3.2	85	100	2	1	15.0	42.5		25	50
4	F3	ホルト		3.2	80	100	2	1	15.0	40		25	50
5	F4	ホルト		3.2	85	40	1	1	15.0	42.5		20	
6	F5	ホルト		3.2	85	100	2	1	15.0	42.5		25	50
7	F16	ホルト		3.2	80	40	1	1	18.0	40		20	
8	C50	抱合	C-100x50x20x2.3	3.2	100	150	1	1	15.0	50		75	
9													
10													
11													
12													
13													

登録する番号を選択して下さい

番号	符号	種別	部材サイズ	板厚	縦寸法	横寸法	孔数	列数	孔径	縦端明	縦ピッチ	横端明	横ピッチ
8	C50	抱合	C-100x50x20x2.3	3.2	100	150	1	1	15.0	50		75	

終了 並び替え 使用中の物件は削除データです、マスターは工事別です。

2.ピースマスターで登録された抱合せ材を選択します。

ピースマスター

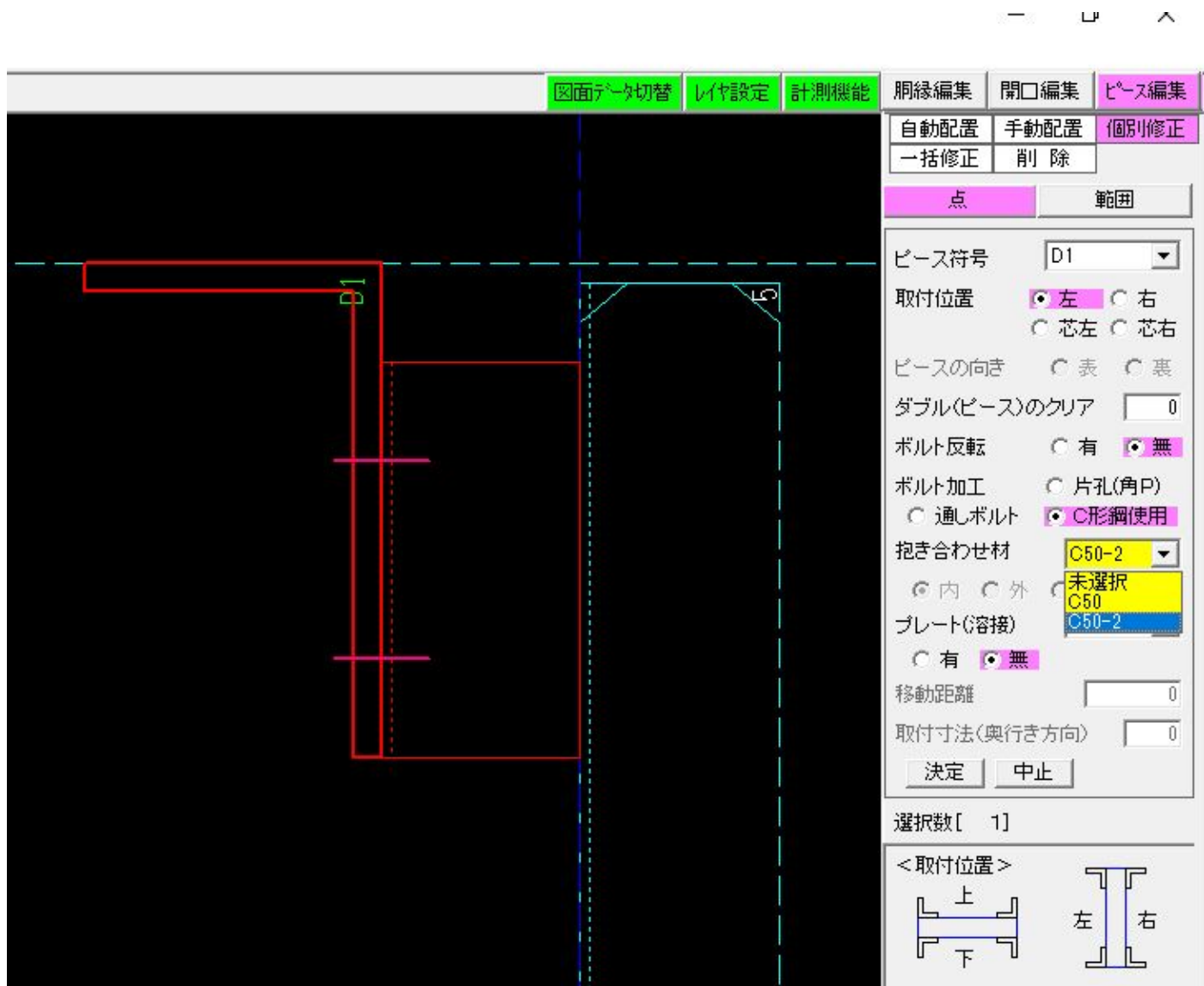
番号	符号	種別	部材サイズ	孔数	列数	ホルト	孔径	縦端明	縦ヒッチ	横端明	ヒッチ1	ヒッチ2	ヒッチ3	ホルトフレート	溶接フレート	抱合せ材
1	J1	軸組	PL-6	2	1	12	15.0	25		25	50			F3		
2	J2	軸組	PL-4.5	2	1	12	15.0	25		25	150					
3	J3	軸組	PL-4.5	2	1	12	15.0	25		25	250					
4	J4	軸組	PL-4.5	2	1	12	15.0	25		50	250					
5	J5	軸組	PL-6	2	1	12	15.0	25		25	100					
6	J6	軸組	PL-6	2	1	16	18.0	40		40	60					
7	1234567	胴縁														
8	J9	軸組	PL-6	4	1	16	18.0	40		25	60	90	60			
9	- 7	胴縁	PL-5x5x5	1	1	12	15.0	5		5				5		
10																
11	6L50	胴縁	L-50x50x6	1	1	12	15.0	20		45				F4		C50
12	6P80S	軸組	PL-6	2	1	12	15.0	40		25	50			F5		
13	6P80W	軸組	PL-6	4	1	12	15.0	40		25	50	60	50	F5		

登録する番号を選択して下さい

番号	符号	種別	部材サイズ	孔数	列数	ホルト	孔径	縦端明	縦ヒッチ	横端明	ヒッチ1	ヒッチ2	ヒッチ3	ホルトフレート	溶接フレート	抱合せ材
1	J1	軸組	PL-6	2	1	12	15.0	25		25	50			F3		C50

終了 並び替え マスター(ノ) フレートマスター 使用中の物件は復帰データです、マスターは工事別です。

3.ピースの個別修正でボルト加工-C形鋼使用で使いたいC形鋼を選択します。



2.角パイプ CT の継手設定の引き継ぎ

角パイプのCTの継手の設定をバックアップデータに含めました。
データ復帰した物件はバックアップデータ内の設定を使用します。

3.合番初期化ボタン

合番を1番から振り直す場合に使用します。従来の「全ての胴縁を集計（初期化）」と同様の処理をします。それに伴い集計の設定の選択は削除しました。

4.角パイプより大きいCTを使ったときの不具合の修正

5.ピース自動配置 DC 材、その他にピース符号が無い場合 C 材のピースを配置

ピースを自動配置する際、DC 材、C・DC 以外のピース符号が空欄の場合、C 材のピース符号を配置します。

6.斜め軸組ピース 抱き合わせ C 鋼に対応

勾配がある胴縁につく軸組ピースに抱き合わせ C 鋼が使えるようになりました。

7.ピース修正 クリアの文字数を 6 に

8.個別修正でクリアが初期化される不具合を修正

9.マグサ指定がピース編集でも使用可能になりました。

10.コーナーピースの入力ガイドを追加しました。

胴縁編集	開口編集	ピース編集
自動配置	手動配置	個別修正
一括修正	削除	マーク指定
点	範囲	
軸組	胴縁	内胴縁
コーナーピース	マーク	

直線からの平行寸法

ピース符号

軸組ピース(柱)

胴縁ピース(角P)

取付位置 左 右

角P芯からピース芯

決定 中止

選択数 [0]

直線 選択条件

図面データ 配置データ

胴縁ピース(角P側)にPL固定のピースを使用する場合、軸組ピース(柱側)の取付位置は胴縁ピースのピース長で決まります。